

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和5年10月19日(2023.10.19)

【国際公開番号】WO2021/085559

【出願番号】特願2021-553697(P2021-553697)

【国際特許分類】

H 0 4 R 2 5 / 0 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

【 F I 】

H 0 4 R 2 5 / 0 2

C

10

【手続補正書】

【提出日】令和5年10月10日(2023.10.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

筒状の外耳道挿入部と耳甲介腔配置部とが仮想球状面上に配置され、  
前記筒状の外耳道挿入部は、外耳道に挿入された状態でその長軸を中心に回転可能であり、

前記耳甲介腔配置部の腹側面に凸条が形成され、前記凸条により前記耳甲介腔配置部が傾斜しやすくなる、外耳装着具。

【請求項2】

前記外耳道挿入部を円筒状、若しくは楕円筒状とする、請求項1に記載の外耳装着具。

【請求項3】

前記外耳道挿入部の径はその先端から前記耳甲介腔配置部に向かって漸増する、請求項1に記載の外耳装着具。

30

【請求項4】

前記外耳道挿入部は断面楕円であり、楕円の長径は上下方向である、請求項2に記載の外耳道挿入部。

【請求項5】

前記外耳道挿入部の先端に形成される音出力部は腹側に配置される、請求項1に記載の外耳道装着具。

【請求項6】

前記外耳道挿入部の下側の面を膨らませて溝が形成されている、請求項1に記載の外耳道装着具。

【請求項7】

40

筒状の外耳道挿入部と耳甲介腔配置部とを備え、

前記耳甲介腔配置部の腹側面に凸条が形成され、前記凸条により前記耳甲介腔配置部が傾斜しやすくなる、外耳装着具。

【請求項8】

断面楕円形状の外耳道挿入部と耳甲介腔配置部で構成され、これら全体が弯曲しながら仮想球面状に配置され、前記外耳道挿入部を外耳道上壁に押しあてるように外耳道へ挿入すると、前記外耳道挿入部は楕円形状のため前記外耳道内で回転して、前記外耳道上壁側に面接触し、外耳道下壁側にベントの役割を担う空間をつくり、

前記耳甲介腔配置部の腹側面に凸条が形成され、前記凸条により前記耳甲介腔配置部が傾斜しやすくなる、外耳道装着具。

50

## 【請求項 9】

音出力部を持つ前記外耳道挿入部と前記耳甲介腔配置部の全てが硬質な材料で形成されている、請求項 1 に記載の外耳道装着具。

## 【請求項 10】

筒状の外耳道挿入部と筒状の耳甲介腔配置部とが仮想球状面上に配置され、  
前記筒状の外耳道挿入部が、外耳道に挿入された状態でその長軸を中心に回転されたとき、前記耳甲介腔配置部は耳甲介腔に接触しながらその位置が調整され  
前記耳甲介腔配置部の腹側面に凸条が形成され、前記凸条により前記耳甲介腔配置部が傾斜しやすくなる、外耳装着具。

10

20

30

40

50